

解析をし、初期値化やスムーズ化でその情報を落とすことのないようにすることが大切である。

数値予報モデルでシミュレートされた低気圧は、発生初期の段階では下層にのみ認められ、対流圏中層での正の相対渦度の増加は下層の正渦度の鉛直移流と水平移流で生じ、ほぼ同じ大きさである。

この低気圧の構造は、発達段階において相対渦度と上昇流の極大域が 900~800 mb に存在する以外傾圧不安定波とはほぼ同じである。

文献

Electronic Computation Center, JMA, 1983: Outline of operational numerical weather prediction at Japan Meteorological Agency, Appendix to periodic report on numerical weather prediction, 7-62.

気象庁予報部, 1983: 電子計算室報告・別冊29号, 北半球およびファインメッシュ予報モデル (8L NHM および 10L FLM) と解析システム, 5-17, 45-58.

山岸米二郎, 1983: 関東地方の局地的悪天時の場の特徴の数値シミュレーション, 天気, 30, 531-538.

日本気象学会誌 気象集誌

第II輯 第62巻 第1号 1984年2月

- 山中大・田中 浩: 中層大気慣性内部重力波の臨界高度近傍の伝播と碎波
 松田佳久: 輻射条件のもとにおける傾圧流の安定性についてのノート
 高谷美正: 順圧シア一流の線型初期問題に関する一般論
 神沢 博: 変形されたオイラー方程式に基づく準地衡風エネルギー論と波動・平均流相互作用問題への適用
 高橋正明: 赤道中層大気における東西風の半年周期振動のモデル
 村上多喜雄・岩嶋樹也・中沢哲夫: 南半球モンスーン (1978~79) 開始前後における熱, 水蒸気, および渦度の収支
 村上勝人: 西太平洋および東南アジア地域における深い積雲対流活動の解析 第2部 北半球の夏にみられる季節変化と季節内変動
 椎野純一: 軸対称積雲モデルにおける雨滴の成長 第2部 パイモータル粒径分布の形成
 山下 晃・大野隆行: 自然循環型クラウドチェンバー中で成長する氷の結晶
 山下 晃・浅野浅春: $-4 \sim -1.5^{\circ}\text{C}$ の範囲で気相成長する氷の結晶の形態
 太田幸雄・田中正之: 霧及び雲の存在する大気に対する P_3 近似法の適用
 広田道夫・村松久史・牧野行雄・佐々木徹・外山芳男: 日本上空における CF_2Cl_2 , CFCl_3 および N_2O の鉛直分布

要報と質疑

- 武田喬男・池山雅美: 北西太平洋域における約30日周期の雲量の変動
 青木 孝・吉野正敏: 台風の発生数と海面水温との関係
 山中大・田中 浩: 成層圏風系の中小規模構造: 気球観測速報
 森 信成: EOF を適用した重回帰式による 192 時間降水予想
 権田武彦・山崎利夫: 凍結雲粒から成長する雪結晶の初期の形態
 佐藤隆夫: 任意の傾斜面に於る快晴直達日射量及び可照時間の計算